

## 使用上の注意

- 圧力脱着タイプのカブラを使用する場合は、設置時に回路内のエア抜きを十分に行なってください。エア抜きが不十分な状態で使用すると、圧力の低下やカブラ分離時のスピル量の増加につながります。
- カブラ先端にキリコ・切削油が付着した状態で接続しないでください。カブラ先端にキリコなどが付着する場合は、接続前に必ずエアブローを行なってください。
- マニホールドの配管ネジ部や配管加工穴のカエリを取り除き、キリコなどが残らないように配管回路内は十分にフラッシングしてください。各カブラの流体供給側には、フィルタが内蔵されていないため、キリコが内部に侵入した場合、シール部に傷を付け、油漏れの原因となります。
- カブラ押付け力は反力以上となるように設定してください。反力はカブラが完全に分離するまで作用します。
- 接続時のガイド・ストッパはカブラ本体には設けていません。別途、用意してください。
- 切削油などが溜まるような場所にはカブラを取付けしないでください。

## 反力計算例

### 配管仕様

油圧	複動クランプ 2回路 (各5MPa) カブラ型式：WVP-2BPH×2・WVP-2BSH×2
エア	着座確認 1回路 (0.3MPa) カブラ型式：WVP-3DPN・WVP-3DSN

## クランプ時反力

### クランプ回路

バネ力 40 (N) + 油圧 5 (MPa) × 113 = 605 (N)

### アンクランプ回路

バネ力 40 (N)

### エア回路

バネ力 60 (N) + エア圧力 0.3 (MPa) × 380 = 174 (N)

## 合計反力

油圧カブラ 605 (N) + 40 (N) + エアカブラ 174 (N) = 819 (N)



スタンダード パルシステム構成例